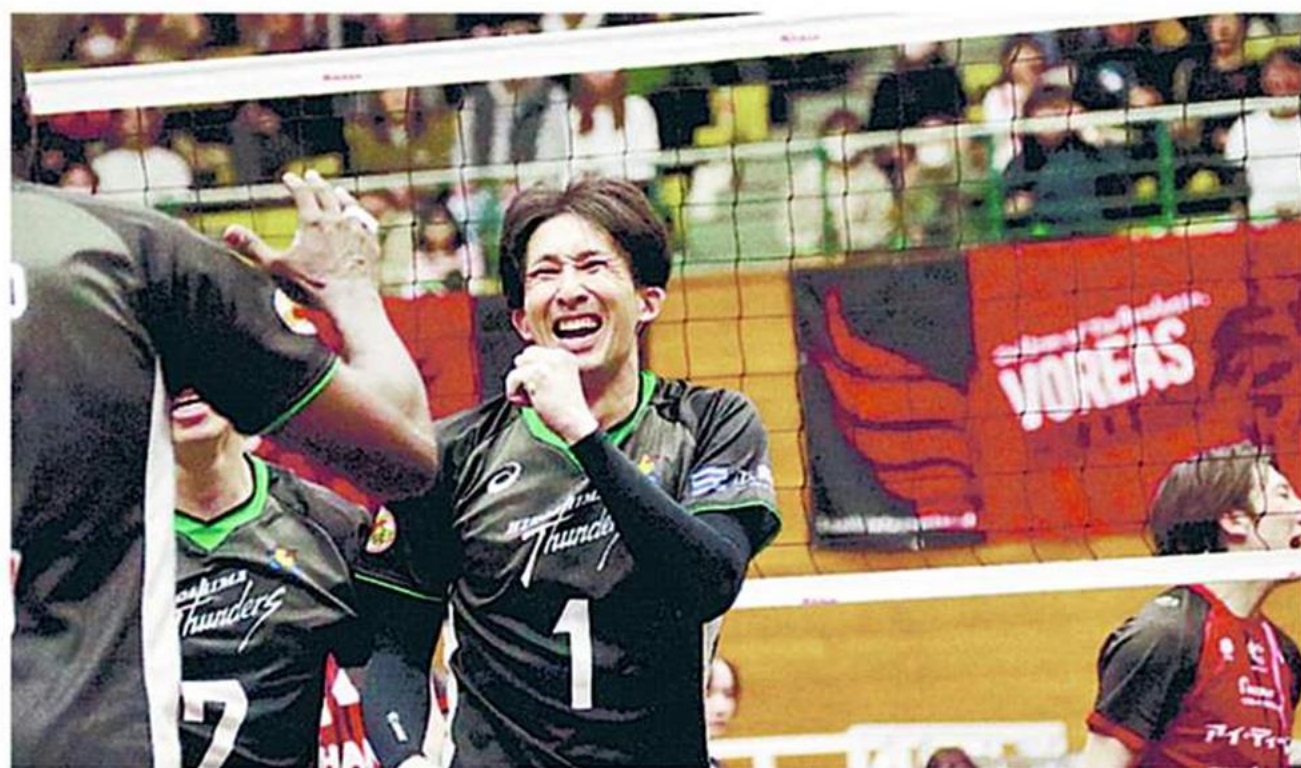


ばばだぜ! 広島サンダーズ

久原 大輝

3月下旬、安永拓弥、オレオル・カメホ、平井海成、熊倉允、唐川大志の5選手の退部が発表された。この5選手のことについて折を見て、書かせていたきたい。

大同生命SVリーグのレギュラーラウンドは残り2試合。今季から新リーグとなり、試合数



得点を決めて笑顔を見せる
安永選手① (3月22日)



CSへ残り2戦必勝

は昨年より8試合多い44試合を戦い、42試合を消化した。

今季はシーズンを通じて、長期で離脱する選手が複数出るなど、非常に難しいシーズンであった。そして、改めてコンディションの重要性を感じる学びの多い一年でもあった。高木啓士郎選手や内定選手の柳北悠李選手ら、これからのサンダーズを背負う選手たちが活躍し、存在感を放つゲームもたくさんあった。

最終節の相手は東レ静岡。10月の開幕戦、12月の福山と4試合を戦って3勝1敗。特に4戦目、カメホ選手が指を負傷し血まみれになりながら決めたスパイクは、私の中で今季一番印象に残っているポイントでもある。

チャンピオンシップ(CS)に進出するためにも、とにかく勝ち続けるしかない。そして、このメンバーで戦える試合も数少ない。退団する選手たちのためにも、絶対に負けられない強い気持ちを持って、アウエー静岡市へ乗り込む。

(広島DMネジャー)